

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立日根野中学校 第3学年、全生徒

実施生徒数（ 170人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び数学。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

## 平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

### 1. 全体の傾向

#### 「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 77.1 / 泉佐野市 75.7 / 大阪府 77.0 / 全国 79.4）

#### 「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国に比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 46.3 / 泉佐野市 44.7 / 大阪府 47.2 / 全国 51.0）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
<p><b>【話すこと・聞くこと】</b></p> <p>○必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すことに課題がある。</p> <p>1 二 報告内容を踏まえた質問として適切なものを選択する。（75.3/80.3）</p> <p>○話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす。</p> <p>6 二 話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する。（66.5/76.0）</p> <p><b>【読むこと】</b></p> <p>○文脈における語句の意味を理解する。</p> <p>3 二 「ひとしくおれの方を見た」の意味として適切なものを選択する。（71.8/79.8）</p>	<p><b>【伝統的な言語文化と国語の特徴に関する事項】</b></p> <p>○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。</p> <p>8 三オ 適切な敬語を選択する。（お客様、私が校内をご案内します）（88.8/93.0）</p> <p>8 三カ 適切な語句を選択する。（あの人は、<u>単刀直入</u>にものを言う）（81.2/86.3）</p> <p>8 三キ 適切な語句を選択する。（忙しい兄は、休日<u>にのびのびと羽を伸ばす</u>）（87.1/92.1）</p> <p>○辞書を活用して、語句の意味を適切に書く。</p> <p>8 四 国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く。（英気を養う）（54.7/59.9）</p> <p>○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。</p> <p>8 五 1 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。（まうけて）（72.4/59.9）</p> <p>○古典と昔話とを対応させて内容を捉える。</p> <p>8 五 2 古文に当てはまる言葉を昔話の中から抜き出す。（63.5/71.0）</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>○文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ。 1二 標語から伝わってくるメッセージを書く際に気を付けたこととして適切なものを選択する。(48.8/58.9)</p> <p>○文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く。 1三 ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く。(42.9/48.2)</p> <p>○複数の資料を比較して読み、要旨を捉える。 2一 本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する。(25.9/31.4)</p>	<p>○落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像する。 3二 殿さまの言動が表す殿さまの姿として適切なものを選択する。(57.1/67.2)</p> <p>○落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く。 3三 落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く。(39.4/46.5)</p>

### 3. 学習状況調査より

(数字は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という割合を足したものです。)

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	60.0	58.2		1.8
国語の勉強は大切だと思いますか	86.8	89.0		2.2
国語の授業の内容はよく分かりますか	77.5	72.0	◇	5.5
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	75.4	82.5	◇	7.1
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	47.5	56.1	◇	8.6
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	41.7	49.1	◇	7.4
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	56.0	60.3		4.3
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに理解しながら読んでいますか	57.8	67.5	◇	9.7
今回の国語の問題について解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	90.3	94.6		4.3

- 「国語の勉強が好き」「国語は大切である」「国語の授業はよくわかる」と解答した生徒は、全国平均を上回っているが、「国語の学習が将来の役に立つ」と解答した生徒は全国平均を大きく下回っている。

- 国語の授業の受け方について回答は、すべての項目で全国平均を大きく下回っている。とくに、「読む」ことに関しては10ポイント近くの差が見られ、苦手意識がみられる。
- 「意見を発表するときに、うまく伝わるように工夫している」生徒も全国平均を大きく下回り、「話す（発表する）」ことに関する苦手意識もみられる。
- 「書く」ことに関しては、全国平均との差が5ポイント未満であり、他の項目に比べて差が小さい。また、半数以上の生徒が肯定的な回答をしている。

【まとめ】

「国語の授業は大切だと思い、よく分かり、好きだ」という生徒がたくさんいるが、「読むこと」や「話すこと（発表すること）」「書くこと」ができていると感じている生徒は全国平均より少ない。「書くこと」については、他の領域より、その差は小さい。

平成 26 年度全国学力・学 lực学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A区分問題」 平均正答率（本校 67.4 / 泉佐野市 62.8 / 大阪府 65.0 / 全国 67.4）

・数学Aは泉佐野市および大阪府の平均正答率より上回っており、全国平均と同じである。平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、中位層が少なく、上位層と下位層の二極化傾向にある。

「B区分問題」 平均正答率（本校 59.4 / 泉佐野市 54.9 / 大阪府 56.9 / 全国 59.8）

・数学Bは泉佐野市および大阪府の平均正答率より上回っているが、全国平均より0.4ポイント低い。平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、上位層が全国に比べ多い。

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特徴がみられた設問
<p>【数と式】①（2）</p> <p>指数を含む正の数と負の数の計算ができるかどうかをみる。(77.6/70.7)</p> <p>指数を含む正の数と負の数の計算では、計算の順序を理解し、確実に計算できるように丁寧に指導してきた。</p> <p>今後については、<math>(-5^2)</math>と<math>(-5)^2</math>が異なること、<math>(-5^2)</math>は<math>(-5 \times 5)</math>を意味していることを理解できるように指導することが大切である。</p> <p>【数と式】①（4）</p> <p>実生活の場面において、ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数を用いて表されることを理解しているかどうかをみる。正答率は85.3%で概ねできている。(85.3/91.1)</p> <p>実生活の場面において、ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数を用いて表されることを理解できるように指導することが引き続き大切である。そのために、正の数や負の数の良さを実感できるように指導することが大切である。</p> <p>【数と式】③（2）</p> <p>分数を含む一元一次方程式を解くことができるかどうかをみる。(65.9/59.5)</p> <p>授業では、等式の性質の理解に力を入れてきた。分数や小数を含む方程式であっても、等式の性質を適切に用いて正しく解を求めることが出来るように指導することが大切である。また、求めた数をもとの式に代入してその数が解であることを確かめ、解が正しくない場合には解く過程を振り返って見直す活動を取り入れることも考えられる。</p>	<p>【図形】④（3）</p> <p>図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読みとることができるかどうかをみる。正答率は30.6%で上記内容に課題がある。(30.6/42.5)</p> <p>誤答については、回転移動の特徴を捉えずに、見た印象だけで判断した生徒がいると考えられる。指導にあたっては、実際に図形を紙で作ったり、コンピューターを利用するなどして、図形の移動を視覚的に理解するようにすることが大切である。</p> <p>【図形】⑥（2）</p> <p>三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解しているかどうかをみる。(78.8/73.4)</p> <p>授業では、観察、操作や実験などの活動を通して、三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解させた。</p> <p>指導にあたっては、様々な形状の三角形を生徒自らが書いたり、関係を予想する場面の設定が考えられる。その予想が正しいことを、平行線や角の性質などの既習の図形の性質を用いて説明できるように指導することが大切である。</p> <p>【関数】⑩（1）</p> <p>比例の関係を式に表すことができるかどうかをみる。(64.7/56.7)</p> <p>授業では、比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解させるようにしている。</p> <p>指導にあたっては、<math>y = ax</math>の式に<math>x</math>、<math>y</math>の値を代入して比例定数を求めるだけでなく、表やグラフに表し、比例定数について見直す活動を取り入れ、</p>

	比例定数の意味の理解を深められるように指導することが大切である。
数学A	特徴がみられた設問
<p>【資料の活用】13 (2)</p> <p>中央値の意味を理解し、ヒストグラムから中央値が含まれる階級を判断することができるかどうかをみる。(58.8/52.0)</p> <p>授業では、平均値、中央値、最頻値などの代表値についての理解に力を入れてきた。</p> <p>目的に応じてデータを収集して整理し、資料を代表する値について考察しながら資料の傾向を読み取る活動を通して、代表値の必要性和意味について理解できるように指導することが大切である。</p>	<p>【資料の活用】14 (1)</p> <p>多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解しているかどうかをみる。(70.6/76.6)</p> <p>誤答については、「およそ 0.8」と選択した生徒が 12.9%いる。この中には投げた回数が 10 回ときの割合から確率を判断している生徒がいると考えられる。</p> <p>確率の意味を理解できるようにするために、ある試行を多数回繰り返したときに、試行回数全体に対するある事象が起こる回数の割合が一定の値に近づいていくことが実感を伴って理解できるように、実験を通して指導していくことが大切である。</p>
数学B	特徴がみられた設問
<p>【図形】1 (3)</p> <p>事象を理想化・単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。(49.4/60.6)</p> <p>授業では、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明させる機会が少なかった。誤答については、横断幕を見ている人の目の高さに注目していない点が考えられる。</p> <p>様々な問題を解決する際に、実際に行った解決の過程を振り返り、解決方法について「用いるもの」と「用い方」の両方の必要性を指摘し、数学的な表現を用いて説明できるように指導することが大切である。</p> <p>【関数】3 (1)</p> <p>与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。(82.4/87.5)</p> <p>正答率は、82.4%であり、相当数の生徒ができていたが、与えられたグラフから必要な情報を適切に読みとることができるようにするために、グラフと具体的な事象を対応させ、グラフ上の点が具体的な事象では何を表しているのかを捉えられるように指導することが引き続き大切である。</p>	<p>【図形】4 (1)</p> <p>図形の性質を、構想を立てて証明することができるかどうかをみる。(46.4/39.5)</p> <p>授業では、証明を書くことができるようにするために、証明を構想する活動を取り入れることが大切である。</p> <p>指導の方針として、以下の3つの事項について考えていることを確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>I. 結論を示すために何がわかればよいか。</li> <li>II. 仮定からいえることはなにか。</li> <li>III. IとIIを結び付けるには、あと何が必要か。</li> </ol> <p>【図形】4 (2)</p> <p>付加された条件の下で証明を振り返って考え、証明の過程で見いだした事柄や証明された事柄を用いることができるかどうかをみる。(28.8/23.3)</p> <p>正答率は28.8%で、証明の過程で見いだした事柄や証明された事柄を用いることに課題がある。</p> <p>与えられた性質を証明するだけでなく、条件を変えたり証明を読んだりすることを通して、新たな性質を見いだすように指導することが大切である。</p>

### 3. 学習状況調査より

(数字は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という割合を足したものです。)

質問項目	本校	全国	10% ○ 5% ◇	差
数学の勉強は好きですか	44.0	56.6	○	12.6
数学の勉強は大切だと思いますか	77.2	82.1		4.9
数学の授業の内容はよく分かりますか	64.6	71.5	◇	6.9
数学が出来るようになりたいと思いますか	85.1	91.3	◇	6.2
数学の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	69.2	70.3	◇	1.1
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	29.1	40.9	○	11.8
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	66.8	71.4		4.6
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	60.6	67.4	◇	6.8
数学の授業で公式やきまりを習うときに、その根拠を理解するようにしていますか	60.0	70.0	○	10.0
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	73.7	80.0	◇	6.3

- 「数学の勉強が好き」と回答している生徒の割合が、全国平均を大きく下回っている。
- 「数学は大切だと思う」「数学の授業はよくわかる」「数学が出来るようになりたい」と思っている生徒の割合も全国平均を大きく下回っている。
- 数学の学習が「普段の生活の中で利用できないか」と考えている生徒の割合が30%を以下で、全国平均より大きく下回り10ポイント以上低い。
- 数学の授業で公式やきまりを習うとき、「その根拠を理解するようにしている」と回答した生徒は、全国平均より大きく下回り、10ポイント低い。
- 数学の授業を受けているとき「もっと簡単な方法がないか考えている」と回答した生徒、「問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いています」と回答した生徒は、全国平均より大きく下回っている。

#### 【まとめ】

数学の授業に関する項目がすべてにわたって、全国平均より低い。数学の勉強は大切だと思うが難しいと感じている生徒が多い。数学の授業に臨む姿勢が消極的になっている。また、数学の授業の受け方やノートの取り方の方法、構えが弱い。さらに丁寧な指導が必要である。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>①毎日の就寝時間が決まっているという生徒が全国平均を大きく下回っている。</p> <p>②毎日、テレビやビデオ、DVD、ゲームなどに長時間使っている生徒が全国平均を大きく上回っている。</p> <p>③普段、読書をしない生徒や読書習慣のない生徒が全国平均を大きく上回っている。</p> <p>④新聞を全く読まなかったり、ニュースをほとんど見なかったりする生徒が全国平均を大きく上回っている。</p>	<p>①毎日、同じくらいの時刻に寝ていると回答した生徒 &lt; <u>62.3</u> / <u>74.1</u> &gt;</p> <p>②普段（月曜日から金曜日）、1日あたり3時間以上、テレビやビデオ。DVDを見たり、聞いたりしている &lt; <u>41.7</u> / <u>31.5</u> &gt;                      普段（月曜日から金曜日）、1日あたり2時間以上、ゲームをしている &lt; <u>53.1</u> / <u>35.4</u> &gt;</p> <p>③普段（月曜日から金曜日）、まったく読書をしない &lt; <u>48.0</u> / <u>34.3</u> &gt;                      昼休みや放課後、学校が休みの日などに学校図書館や地域の図書館にほとんどまたは、全く行かない &lt; <u>75.4</u> / <u>58.2</u> &gt;</p> <p>④新聞をほとんど、または全く読まない &lt; <u>76.0</u> / <u>59.4</u> &gt;                      テレビのニュース番組やインターネットのニュースをほとんど、または全く見ない &lt; <u>10.9</u> / <u>6.2</u> &gt;</p>
【家庭学習の様子】	<p>①家で宿題をしている生徒が全国平均を大きく下回っている。</p> <p>②学習塾（家庭教師を含む）で勉強している生徒は、全国平均を大きく上回っている。</p> <p>③家で2時間以上勉強している生徒は、全国平均を大きく上回っている。</p>	<p>①家で学校の宿題をしている &lt; <u>71.4</u> / <u>88.2</u> &gt;</p> <p>②学習塾（家庭教師を含む）で勉強している。 &lt; <u>73.7</u> / <u>60.3</u> &gt;</p> <p>③普段（月曜日から金曜日）、家で2時間以上勉強をしている。（学習塾や家庭教師に教わっている時間を含む）                      学校が休みの日に、家で2時間以上勉強をしている。（学習塾や家庭教師に教わっている時間を含む） &lt; <u>71.4</u> / <u>88.2</u> &gt;</p>

<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>①資料を集め、調べて、発表する学習は全国平均を大きく下回っている。</p> <p>②自分の考えを発表する授業は、全国平均とほぼ同じレベルである。</p> <p>③授業の中でわからないことがあったら、その場で先生に尋ねるとい生徒が全国平均を大きく上回っている。</p> <p>④原稿用紙2～3枚分の感想文や説明文を書くのが苦手な生徒が全国平均より多い。</p>	<p>総合的な学習の時間は、自分で課題を建てて資料集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる。&lt;41.7/54.8&gt;</p> <p>2年生のときに受けた授業では、本やインターネットを使ってグループで調べる学習をよく行っていた。&lt;30.9/46.5&gt;</p> <p>②2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた。&lt;79.5/81.1&gt;</p> <p>③授業で分からないことがあったら、その場で先生に尋ねる。&lt;21.1/10.8&gt;</p> <p>④400字詰め原稿用紙2～3枚分の感想文や説明文を書くことは難しい。&lt;74.9/66.8&gt;</p>
--------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

- (1) 少人数習熟度別指導  
国からの加配教員を活用し、1年生と2年生の英語科、3年生の国語科で少人数指導を実施、2年生と3年生は習熟度別指導を行っている。
- (2) 授業規律の確立  
授業のルールを設定し、全教職員で継続した指導を行う。
- (3) 補充学習、個別指導  
テスト前の放課後や夏期休業期間中などを活用し、補充学習や個別指導を行う。
- (4) 「朝の読書活動」の実施  
読書習慣の醸成と落ち着いた学習環境づくりのため、朝の10分間を読書活動を行う。
- (5) 朝学習  
授業開始前の朝の時間に、プリント学習を実施し、基礎の定着をはかる。(3年生のみ)
- (6) 校内授業研究  
研究テーマに沿った授業研究を行い、教員の授業力向上をはかる。  
校区内小中学校、幼稚園と連携した授業研究を行う。

### ◎これからの取組み（※これまでの取り組みの継続のうえに）

- (1) 学力向上委員会を中心とした、授業改善  
学力向上委員会を中心に、これまでの授業研究について、テーマ設定や生徒評価を取り入れるなどの改善を行う。また、学力学習状況調査結果をふまえた授業改善をすべての教科で行う。
- (2) 授業プリントや自習教材の改善  
府教委の「力だめしプリント」などを活用しながら、授業プリントや自習教材の改善をはかる。
- (3) 家庭学習支援  
宿題や家庭学習の仕方についての指導や支援を強化する。